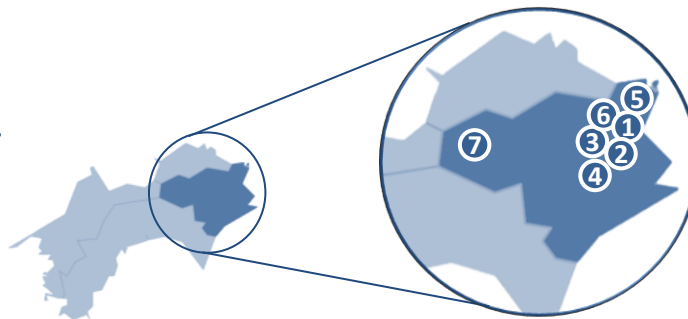




わたしたちの青少年赤十字 ～西・東～

徳島県の約300校が加盟している青少年赤十字。
 それぞれの加盟校で創意工夫した活動が行われています。
 今回、県内7校の「気づき・考え・実行する」活動をみなさんにご紹介します。



リサイクル活動収益金贈呈式

徳島市千松小学校・・・①

毎年、学校全体で取り組んで今年で11回目になるリサイクル活動収益金の贈呈式。式の始めには、ボランティア委員が収益金の報告と、集めたお金の使われ方を劇で下級生に紹介しました。全校児童がこうした活動に取り組む事で、一人ひとりに「奉仕」「国際理解・親善」のこころが育まれています。



心に刻んだ加盟登録式

徳島市南部中学校・・・②

加盟登録式を終えて、生徒たちが「気づき」「考え」「行動する」精神を身につけ、困っている人にも手をさしのべられるようになり、青少年赤十字のやさしさや思いやりの心が広がっています。



福祉体験学習で思いやりの心

徳島市八万南小学校・・・③

徳島市八万南小学校は、青少年赤十字研究推進校に指定され、学校全体で様々な活動に取り組んでいます。27年9月には、福祉体験学習を実施し、高齢者議事体験や車イス体験をしました。

また、28年1月には防災体験学習で炊き出し訓練や応急手当の講習、簡易トイレの使い方などを学習し、災害に対する備えをしています。



災害用移動炊飯器贈呈式

佐那河内村佐那河内中学校・・・④

宮崎商事株式会社様と日本赤十字社徳島県支部から災害用移動炊飯器を寄贈していただきました。組み立て方の説明を聞いた生徒は、「とても簡単に組み立てることができた。これから大切に使いたい」と話していました。



みんなの学校の
青少年赤十字活動も
応援してるよ！



部活新リーダーを養成

徳島市城西中学校・・・⑥

熱中症やAEDを使った心肺蘇生法を学びました。各部活の新キャプテンとJRCリーダートレセンに参加した生徒と人権・防災委員会併せて40名が参加しました。

4～5人のグループに分かれ、救急車に連絡する役やAEDを取りに行く役を果たしたり、AEDの使い方などを実際に体験しました。最初はぎこちなかったが繰り返しグループで練習を行い、熱心に取り組みました。



ドイツ館で思いやりの心を

鳴門市林崎小学校・・・⑤

鳴門市にあるドイツ館で、二本赤十字社徳島県支部や地域の奉仕団と協力して人道・防災学習に取り組みました。

赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」が上演され、板東俘虜収容所でくり広げられた松江所長とドイツ兵の交流の話に耳を傾け、思いやりの心を学ぶとともに、ハイゼックスを使った炊き出し訓練も行い、防災学習も行いました。



防災力の向上を目指して

徳島県立池田高等学校・・・⑦

徳島県立池田高等学校では、防災クラブ委員を対象に防災学習を行いました。日本赤十字社徳島県支部から講師をお招きして、身近な物を使った応急手当の方法を学ぶとともに、災害用移動炊飯器を使った炊き出し訓練にも取り組んで防災力の向上を図りました。